

みんなの広場

1.13



今年の新成人該当者は男性 370 人、女性 269 人

平成 31 年成人式

人生の節目に思い描くそれぞれの未来

20 歳の門出を祝う成人式が市民センターで行われ、639 人が大人の仲間入りをしました。式典の企画や運営を行ったのは、各町（地区）から選ばれた 22 人の実行委員。5 回の話し合いを重ね、自分たちらしい式を作り上げました。会場では鮮やかな晴れ着姿の新成人たちが互いに再会を喜び合い、決意を新たに大人への第一歩を踏み出しました。



久々の再会に笑顔が弾けます（上4枚）



式前日には、実行委員がソメイヨシノ5本を都川内森林公園（大川内町）に記念植樹（樹木は立花町の大川内 悟さんが寄贈）

1.13



宝船に乗った七福神が、開運豆をまきながらパレード

第 30 回招福伊万里えびす祭り

今年も良い年になりますように

新春恒例の招福伊万里えびす祭りが中心商店街で開催されました。祭りは、宝船に乗った七福神のパレードでスタート。車エビやタイ、伊万里牛などが当たるえびす祭り抽選のほか、酒や豚汁のふるまいなどさまざまな催しが行われました。抽選会では長い行列ができ、福を呼び込もうと訪れた家族連れなど、多くの人でにぎわっていました。



「大当たり！」の声が威勢良く響いていた『えびす祭り抽選会』

豪華賞品が多数当たる、が Buy ざがん運動公開抽選



まちなかの至る所に点在するえびすさんを探すスタンプラリー

博多大丸を市のアンバサダーに認定

伊万里の魅力顧客に発信

九州屈指の老舗百貨店である株式会社博多大丸を、本市の情報発信アンバサダーとして認定する『九州探検隊』アンバサダー認定式が、福岡市の博多大丸パサージュ広場でありました。同社は、九州各地のまだ知られていない特産品や文化などを行政と一緒に発掘し、顧客に広く紹介する『九州探検隊プロジェクト』に取り組んでいます。



1.15

認定式で固く握手を交わす深浦弘信市長（左）と株式会社博多大丸の高田徹取締役



↑ 認定式のあと、会場では伊万里牛や伊万里のスイーツなどの特産品がふるまわれました

消防協力者に感謝状を贈呈

迅速・的確な行動は他の模範

火災を発見し、的確な行動で被害を最小限にとどめたとして、伊万里・有田消防本部は、嶋崎光輝さん（大坪町）に感謝状を贈呈しました。市内の共同住宅での業務中、住宅用火災警報器の鳴動に気付いた嶋崎さんは場所を特定して119番へ通報。各部屋の住人にも避難を呼びかけました。迅速な通報のおかげで火災はぼやで消し止められました。



1.16

↑ 伊万里・有田消防本部で感謝状を贈呈された嶋崎さん（右から2人目）

平成31年伊万里市消防出初式

地域住民の安全と郷土の繁栄のために

市民会館で伊万里市消防出初式がありました。市内11分団から756人が集結。消防団協力事業所への感謝状贈呈や、永年勤続団員・優良消防団員の表彰などが行われました。規律正しく整列する団員を前に、前田秋信団長は「地域住民の安全と郷土の繁栄のため、消防訓練に励み、技術の継承に取り組んでください」と訓示しました。



1.6

市民会館に集結した市消防団員



↑ 式典後、女性消防団によるAED使用法の啓発アトラクションがありました

すみやま棚田守る会がディスカバー農山漁村（むら）の宝に
みんなで地区を守っていきます

二里町中田地区の『すみやま棚田守る会』が取り組む棚田保全活動が、九州農政局が選ぶ『ディスカバー農山漁村（むら）の宝』に認定されました。市役所で深浦弘信市長に喜びを報告した同会の木寺清太代表は、「みんなで地区を守っていくという気持ちで取り組んできた。これからも力を合わせてやっていきたい」と話していました。



1.10

↑ 深浦市長（右）に認定を報告した木寺代表（中央）。左は会と連携して保全活動に取り組んでいる伊万里ケーブルテレビジョン株式会社の洲上康児代表取締役